

緊急対応及び感染防止対策

1. 事故(怪我等)発生時の対処について

事故発生を未然に防止するよう、三重県U18部会、各ブロック運営委員、引率責任者は、参加生徒に事故防止の指導・啓発を行うことが必要である。

各チームは、怪我に対応できるファーストエイド・キットを準備しておくこと。また、運営委員及び会場校顧問は、施設設備の安全確認や AED の設置場所を把握し対応できるようにしておくこと。

各チームの責任者は、緊急時に必要な連絡網を携帯すること。

尚、事故が発生した場合には、以下のように対処する。

- (1) 試合中の怪我等のうち救急車を要請した場合、関係者は直ちにその旨を下記の連絡先に連絡すること。また頭部の怪我や熱中症は帰宅途中で重症化することもあるため、そのことを念頭におき慎重に対応すること。

連絡先) 各ブロック運営委員 ⇒ 三重県U18部会長 ⇒ 専門部長
引率責任者 ⇒ 保護者、当該校の管理職
(三重県U18部会長 : 大森090-8158-6522)

- (2) 移動途中の事故への対応

連絡先) 引率責任者 ⇒ 保護者、当該校の管理職
三重県U18部会長、各ブロック運営委員
※試合に影響する場合は相手チーム引率者

- (3) 救急車の要請をしなかった場合においても保護者へ連絡するなど慎重且つ迅速に対応すること。

- (4) 事故発生の際は、状況を記録しておくこと(別紙参照: 救急搬送車報告用紙)

①いつ ②誰が ③どこで ④何をしているときに ⑤どのようにして
⑥どうなったか ⑦応急処置は何をしたか ⑧医療機関名など

- (5) 試合会場では、できる限りの応急処置は行うが、その後の責任は負わない。
各自が保険の加入などの対策をすること。

2. 試合の中止や順延についての決定

- (1) 試合当日、午前6時の段階で三重県下のいずれかの地域に特別警報や暴風警報が発令されている場合は、試合は行わず順延する。
- (2) 試合当日、午前6時の段階で尾鷲市・熊野市・御浜町の地域に大雨警報が発令されている場合は、その日に予定されていた当該チーム（東紀州のチーム）の試合を順延する。
- (3) 試合中に特別警報や暴風警報が発令された場合は、速やかに試合を中断しそれ以降の試合を順延する。試合中に尾鷲市・熊野市・御浜町の地域に大雨警報が発令された場合は、当該チーム（東紀州のチーム）に確認し順延することも視野に入れ三重県U18部会と各ブロック運営委員において協議し判断する。
- (4) 「南海トラフ地震に関する情報（臨時）」が発表された場合、適宜必要な情報収集に努め、生徒、来場者等に対して必要な情報を伝達する。また、避難場所、避難経路の確認等日頃からの地震への備えを再確認する。競技中に大規模地震が発生した場合は、直ちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、状況を判断して最も安全と思われる手段を選択する。
- (5) その他、悪天候や自然災害等、参加チームの学校の内規や交通状況等により試合することが困難な場合は、三重県U18部会と各ブロック運営委員において協議し判断する。

3. 感染防止対策について

- ① 原則、無観客で試合を開催する。
- ② 各チームは、試合当日、運営委員に「体調管理チェックシート①（チーム提出用）」を提出する。
- ③ 高体連バスケットボール専門部の大会開催に関するガイドラインに沿って、リーグ戦を開催する。直近の大会で提示されている注意事項などを遵守すること。
- ④ 各ベンチの交代席あたりに手指用アルコール消毒液を設置する。
- ⑤ 試合後、使用したベンチ・TO席をアルコールで消毒する。
- ⑥ 体育館入り口に、手指用アルコール消毒液を設置する。
- ⑦ 試合が終了したら換気を十分に行う。（できればハーフタイムも換気を行う。）
- ⑧ 更衣場所が密にならないように、ローテーションや利用者数制限などを行う。